



お散歩の道中の立ち寄りスポットのひとつ。お弁当屋さんです。よくファイヤーショーを見せてくれます！子どもたちも「かじだー！」「もういっかい！」と興味津々でしたね。

今年のぐんぐんさんは、佐久間公園に何度も通うなかで、必ず立ち寄り「寄り道スポット」がたくさんできました。お弁当屋さんやタオル屋さんに加えて、マンションの柵の裏、メダカの鉢、ビルの段差、エレベーターの前…ざっと思いついでだけでも10か所以上！春の頃から立ち寄り箇所がどんどん増えて、いつものルーティーンの道にも、環境の広がりを感じました。そして、それを楽しみにしている姿そのものが、子どもたちの「関わりたい！」「やりたい！」の意欲の表れでもあったと思います。



佐久間公園では「姫りんご」と子どもたちがよぶ赤い実を、手に持ちきれないほど集める遊びに夢中になっていました。どこにあるかな〜と生垣の下の方まで潜って行って、どこまでも探しにでかけていく姿がかわいらしかったです。

誰が教えたわけでもないのに潰れてしまっている実ではなく、丸々と綺麗な実を探して、みつけると「あった！」と嬉しそうなお顔をみせていましたね。お砂場に持って行って盛り付けてお料理を彩る姿もあって、やってみたいと思う気持ちに加えて美的センスも感じました。



子どもたちの宝探しは
あくなき探求心にも
つながっていくようです



道中の寄り道コースや公園で大人と楽しんでいたかくれば、わたしもかくれんぼできるのよ！と子どもたち自身が隠れて大人を誘うような姿も出てきました ^^



4期まとめ

わかちゃんのクレヨン遊びでの気付き、はるちかくんが土遊びの中で実験していた道具の使い方、カラーコーンでの遊び…モノの使い方ひとつとっても、子どもたちの興味の広がりや方向性は本当にさまざま、その子なりの「面白さ」がそこにあるのだなぁと気づかされました。その面白さにじっくりとことん関わること。それが「探究」への道になっていくと思います。

屋上でサーキットを作ろうとカラーコーンを並べると、初めてみたコーンを手に持ってシンバルのように叩きながら歩くぐんぐんさん。まるでおもちゃのチャチャチャに出てくる兵隊さんのようで、みんなで歌いながら歩きました。環境の色々なもので見立て遊びをする、そのイメージの発想の豊かさには、いつも驚かされます。

